

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	21番 植松尚志郎議員	30分	1 川内川洪水の内水対策について	川内川洪水時の内水対策として、下手地区と川南地区は移動式ポンプで対応するようになっているが、それに対応できるのか疑問を感じる。むしろ1台リースして下手地区と川南地区にそれぞれ1台ずつを配置した方が良いと考えるが、市長の考えを伺いたい。	市長	

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち2枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	18番 古城 恵人議員	40分	1 環境保全向上活動支援事業について	① この事業に対する市の取り組み姿勢に問題はないのか。 ② 山野地区（土地改良）にはこの事業の導入はなされていない。行政に差別があっているのか。	市長	担当課長
			2 川内川に関する問題について	① 内水対策について、ポンプの購入及びリースについてどの程度の能力のものを購入あるいはリース借り上げするのか。検討結果について示されたい。 ② 阿波井堰改修を踏まえて、内水対策のポンプ車配備について伺いたい。	市長	担当課長

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち3枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	11番 左近充 議員	30分	1 川内川改修について	1 内水面对策の市の対応は。 2 曾木の滝分水路の呑み口と、吐き口の高さはどうなっているか。 3 鶴田ダムの再開発は、事業が始まるのか。 4 上流（えびの市）の雨量と、浸水の間係を市は把握されているか。	市長	
			2 農業所得の向上について	1 焼酎の麴用国産米の品種は何か。 2 飼料用（米粉用）米の作付を、推進すべきではないか。 3 米粉工場建設の考えはないか。	市長	

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち4枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	15番 森山 善友議員	30分	1 伊佐市農業振興策について	① 国の農業政策が大きく変わろうとしている。伊佐市の今後の農業振興策の考えについて。 ② 米戸別所得補償、収入減少補てん、定額部分、変動部分等の説明を求める。 ③ 水田利活用自給力向上事業の取り組みについて	市長	担当課長
			2 山野中学校統合について	① 今日までの対応について ② 今後の取り組みについて	教育委員長	

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち5枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	20番 岩元 克頼議員	30分	1 高齢社会に対応した窓口業務について	平成20年第1回定例会において、この質問を行っているが、その後検討された状況等につきお尋ねしたい。	市長	
			2 子宮頸がん予防ワクチンについて	予防ワクチンの接種と検診により、子宮頸がんをほぼ予防できると聞いているが、市長の見解をお尋ねしたい。また、近年の子宮頸がんのり患の実情はどうなっているか。	市長	

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち6枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	6番 畑中 香子議員	40分	1 公立保育園の民営化と廃止問題について	<p>児童福祉法第24条では、保護者の入所時点での保育を選択、保育の実施期間中保育を継続して受けることを権利あるいは法的利益として認めている。全国的に保育園の民営化に対して訴訟が起こっており、「保育期間中に民営化されることは行政の裁量権を逸脱している。」と多くの判決が下されている。</p> <p>① 保護者に対する説明と合意形成の状況は。説明会で出された意見や質問はどのようなものだったか。</p> <p>② 徳辺保育所の臨時職員の身分はどのようになるのか。 平成23年3月までのスケジュールは。引継ぎ保育をどのように行うのか。</p>	市長	
			2 国保問題について	<p>① 国民健康保険法第44条、医療費自己負担金減免制度を整備するべきではないか。</p> <p>② 昨年から中学生以下の子どもに対しては短期保険証を無条件に交付することとなったが、適切に対応されているかどうか。新年度の国の予算でもこの措置が高校生世代以下に拡大されるなど改善措置がとられるが、説明や滞納者への対応はどのように行うのか。</p>	市長	
			3 農地・水・環境向上対策事業について	<p>① 事業開始の時点で、山野地区が対象外となった詳しい理由を説明せよ。</p> <p>② 地区住民から、この事業に乗ることができなかったことについて不満の声が上がっているが、不満解消のための手立てをどのように考えているか。</p>	市長	
			4 小学校校庭へのナイター設置について	<p>① ナイター設備の無い小学校の校庭で少年団活動をしている子どもたちの現状をどのように考えるか。</p> <p>② 子どもたちの健全育成のためにも計画的にナイター設置を進めていくべきではないか。</p>	市長	

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち7枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	12番 柿木原榮一議員	30分	1 戸別所得補償モデル対策について	① 自給率向上事業と米のモデル事業に自治体として伊佐市はどうしていけるのか。 ② 自給率向上のカギをにぎる二毛作・水田作の麦、大豆の反収の向上・不作付水田で飼料用・米粉用米の生産の定着をどのように指導されるのか。 ③ 米の値下がりが続いているが「農業者戸別所得補償制度」の制度自体が米価下落を促すとの見方もあるが、下落した時点で、伊佐市としてなんらかの手をうつのか。 ④ 形を変えた減反政策であるが、説明会を開催される予定はあるのか。 ⑤ 口座名義が一致しないと、補助金の交付を受けられなくなるが、周知は。 ⑥ この3月からJA北さつまになる。九州農政局鹿児島農政事務所の地域第1課が担当になるが、トラブルの可能性はないのか。	市長	
			2 没後400年新納忠元公記念事業について	① 没後400年新納忠元公実行委員会を立ち上げられたが、事業計画の概要について説明を願いたい。記念される年度であるので、市民もおおいに関心があり、没後300年祭も旧大口町時代に、市民の協力で盛大に催されたに聞いている。記念誌作成も企画してあるが、どのような記念誌になるのか。 ② 県内県外の歴史の研究者達にも、関心のある方が多いが、どのような広報をされるのか。 ③ 忠元公は、文武両道を兼ね備えた方で智者ですが、毎年顕彰できるもの、例えば社団法人発明協会が主催している、次世代が興味を示すような、生涯学習育成支援事業の形態で伊佐少年少女発明クラブの設立はできないものか。 ④ 生涯学習の中で、中高生に対して文武関係・郷土史・郷土芸能関係で忠元公の教えを十二分に生かされる方法はないのか。	市長	

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち8枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
			<p>3 特定不妊治療費の伊佐市の支援について</p>	<p>① 伊佐市は特に高齢化率も35.8%と新聞で発表され、少子化も進んでいるが、伊佐市にとって最重要の課題の一つである。 この課題解決のためにも、特定不妊治療の支援は必要であると考えるが、市長は不妊治療についてどのように理解を深めているか、伺いたい。</p> <p>② 特定不妊治療費の助成について、平成21年第2回6月定例会で質問した際の支援は、公費10万円だった。平成21年11月では、公費拡充が5万円上乗せされたが、昨今の厳しい経済状況で、経済的理由で不妊治療を断念する人が、増えないように経済的負担の軽減を図り、少子化解消の一助に伊佐市で支援はできないものか。</p>	市長	

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち9枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	3番 久保 教仁議員	30分	1 和牛ブランド化の取組について	① 優良種雌牛保留導入事業について。 ② 生産コスト縮減に向けた取組はなされているのか。 ③ 優良農家の取組を集約されているか。それをどのように生かされているのか。 ④ ディリーサポートかごしま及び他のサポート事業ヘルパー活動について。 ⑤ 後継者ネットワーク構築事業について。	市長	
			2 米政策について	① 水田利活用自給力向上事業への対策は。	市長	

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち10枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	10番 鶴田 公紀議員	40分	1 人事管理について	① 定年退職者数 ② 勸奨退職者数 ③ その他退職者数（死亡者を含む） ④ 新規採用者数 ⑤ 今後の職員数シュミレーションについて ⑥ 4月1日付けの人事異動及び課・係の統廃合による適正配置の規模について。	市長	
			2 公共用地の有効活用について	① 都市計画後の市有地の活用（処分を含む）状況について ② 旧中央公民館跡地及び八坂・井手原の土地活用について ③ 合庁跡地及び諸施設の有効活用の計画について。	市長	

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち11枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	17番 中村 周二議員	30分	1 まちづくりについて	多様な主体の協働によるまちづくりについて、どのように取り組んでいくのか。(人材を含め、限られた地域資源を十分に活用したまちづくりとあるが、その中の人について)	市長	
			2 一般質問について	一般質問で質されたことを、市長はどのように受け止め、処理しているのか。	市長	

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち12枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	9番 沖田 義一議員	30分	1 JA北さつま (伊佐・さつま・薩摩川内)が3月1日に発足したが協力支援、その他の件について	① 今までは1市1JAということで連携・協力・話し合い等もありとスムーズにできた面もあったが、今回の合併で2市1町で1JAとなり難しい面も出てくるがどのように対処するつもりか。 ② 合併する事によって農産物等の有利販売や土地や気候に合った作物の選択肢も増えてくると考えられるが所得向上にどう結び付けていく考えか。 ③ 各JAには合併迄の歴史の中から生まれたブランドがあるが、合併によって無くなるのではないかという心配があるが、どう対処するのか。(米・牛・ネギ・カボチャ等) ④ JA(例えば同好会・価格維持制度・子牛購入補助等)への支援については変わりなく続けるのか ⑤ 家畜市場の統合についてはどう考えているか	市長	担当課長
			2 少子高齢化の進む自治会、コミュニティの現状と対策について	① 平成20年12月末でのデータによると旧大口市は189自治会で限界集落は40自治会、旧菱刈町は92自治会で限界集落は17自治会であり、伊佐市では限界集落数は57自治会となっている。10年後の予想を伺いたい。 ② 西太良は24自治会の内10自治会が限界集落でありその割合は41.6%あり、高齢化率は45.9%(曾木45.7 針持46.1)であり、次に高いのが山野、羽月の24%台です。曾木と針持の高齢化率は他のコミュニティと比較すると高い訳です。 日常生活での高齢者が必要とするのは買い物や病院に行くための交通手段であり、近所との対話であり台風や地震のときの速やかな情報伝達です。また、校区の小学校の児童が多くて賑やかで複式学級の解消等に一喜一憂しないですむ児童の確保であると思っています。 ・合併協議会で「地方バス路線維持 町民バスについては、合併後2年を目途に再編する」とのことであったが経緯と見直しについて	市長	担当課長

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち13枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
				<ul style="list-style-type: none"> ・「防災行政無線については、整備済の同報系は現行のとおり新市に引き継ぎ、未整備地区については、合併後3年を目途に整備を図る。移動系も現行のとおり新市に引き継ぎ、同報系を含めた集中管理室を設け、統一された防災行政無線を整備する」との事であったが経緯と今後の見通しについて ・伊佐市福祉タクシー利用料一部助成事業運営規則の中で現在の利用状況と予算の執行について 75歳以上の者とした経緯について 助成額について 一律に一回乗車につき500円とし、年間5回とした経緯について 通院距離によって支援金額あるいは回数を決めなかった経緯について ・市営住宅（針持）は6号までであるがその内の4室が空いている。入居希望がなかったのか。 学童保育は10名以上の設置条件があるため設置出来ない状況にある。市営住宅に入居者がいたら児童数が増えるのに、針持に学童保育があったら子供を通わせるのにといいことも聞きました。市民バスがあったら料金も安く便利なのにといい声も聞きました。このような事については、十分把握されていると思っているが、どのような施策を考えているのか伺いたい。 		
			3 給食費の天引きについて	① 国の2010年度予算が年度内成立は確実と報道され、子ども手当が支給されるが給食費の天引きをして欲しいという意見が多く聞かれるが検討されているのか。	市長	担当課長

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち14枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	14番 市来 弘行議員	30分	1 伊佐市を「元気のあるまち」とするための産業振興政策について	<p>① 今年度予算に措置された重点事項、又その政策はどういったものか。</p> <p>② 市長が力を入れている「福祉のまちづくり」が、当市経済にもたらす波及効果について、試算されたことはあるのか。</p> <p>③ 地域内の農業生産者の増加、所得向上に向けた政策は、現在どういった形で実行されているのか。改めてお聞きしたい。</p> <p>④ 地域内を元気とするための具体的取り組みとその方法について、どういったことが最も大切であると考えておられるのか。またその具体策は何か。加えて、若い人たちを巻き込んだ具体策は、何か考えられないか、お伺いしたい。</p>	市長	

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち15枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	16番 鶴木 誠 議員	30分	1 施政方針から見た地域活性化について	<p>22年度の施政方針を聴き、特に地域活性化について確認しておきたい。</p> <p>伊佐市は年間の人口減が約500人、高齢者率が38.5%と進む中で、22年度予算は『人の幸せが一番』というゴロ合わせの通り、一般会計の当初予算は148億1,000万円が計上され前年より9億3,000万円の積極型予算となっている。</p> <p>『本格的な伊佐のまちづくりの始動』実現のために昨年の施政方針を踏まえながら確認しておきたい。</p> <p>① 企業誘致活動について 企業誘致は合併前から両市町で取り組み、昨年も施政方針で語られた。 昨年のは反省点と今年度の違い、活動方針を伺う。</p> <p>② 地場産業活性化について 昨年の方針の中の医療・福祉・建設・行政の連携による起業は促されたのか、人口減に歯止めがかけられるヒントは見つかったのか。 そして今年度の施政方針の中の『新たな生業』『定住促進や農業等の新規参入者促進「人材誘致」』等々についての戦略を伺いたい。</p> <p>③ 職員の研修視察の報告について 特に先進地調査研修の情報は全ての市民が共有すべきではないか。 例えば昨年文教厚生常任委員会と共に職員複数人が視察し北海道伊達市で学んだこと、実行しようと企てていることは何か。</p>	市長	

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち16枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
14	2番 松元正議員	30分	1 伊佐活性化案～ 教育全般～について	① 伊佐市の子どもたちはどんな人間になってほしいか、又そのための教育はどうかされるべきか、その対策は。 ② 地方交付税の教育費の基準は。 ③ 幼稚園・保育園・小学校・中学校の今後10年間の子供の人数の見通しは、園・学校・学年別に。 ④ 校舎等の耐震補強など、設備費の今後10年間の推移は、又棟数は。 ⑤ 図書館を1ヶ所にして、規模を大きくし充実させ、本はインターネットで読みたい本を注文するシステムの構築は。 ⑥ 各校のプールを廃止し、フィットネスクラブを誘致して、一年中屋内でインストラクターの下、子どもたちの基礎体力を養成し、又地元出身のインストラクターを養成する事業を立ち上げる気はないか。	市長	

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち17枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
15	4番 前田 和文議員	30分	1 放課後学童クラブの充実への取り組みについて	1 各学童クラブの児童数の現状把握について 2 指導員の資格と待遇・雇用環境について 3 学童クラブ内の事故に対する傷害保険について 4 特別支援の必要な児童の受け入れに対する福祉事務所・教育委員会等や保護者を含めた関係者との連携について	市長	担当課長
			2 特定健診受診率向上対策について (がん検診も含む)	1 これまでの受診者数・受診率、結果別の罹患者数等の実績について 2 今までの受診率向上に向けた取り組みと効果の分析について 3 22年度の目標受診率は、どのくらいの数値に設定したか、また目標達成に向けた取り組みについて 4 生活習慣が起因すると思われる疾病に対する受診後の指導について	市長	担当課長

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち18枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
16	5番 諏訪 信一議員	15分	1 環境問題について	<p>① 4月から旧大口市も旧菱刈町に準じて、燃えるごみ袋で出していたプラスチック容器・包装、ビニールなどがプラスチック専用袋で出すようになりますが、どのように市民に周知・徹底していくか、その取り組みを伺いたい。</p> <p>② 資源を有効活用するために、また、ごみを減らしていくために、市は今後どのような取り組みをしていくのか。</p> <p>③ 市民や子どもたちの環境意識を高めるための「環境学習」について、現在の取り組みと今後の取り組みについて伺いたい。</p>	市長 教育長	担当課長
			2 Hibワクチンの接種費用について	<p>① 本市は、乳幼児へのHibワクチンの予防接種費用を市が全額負担する施策を進めている。しかし、「三種混合と同時接種でないと、無料ではなかった」という乳幼児の保護者がいた。乳幼児の保護者への通知や説明の仕方はどのようにしているのか伺いたい。</p>	市長	

平成22年第1回定例会一般質問

平成22年3月15日・17日・18日

(19枚のうち19枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
17	13番 福本千枝子議員	40分	1 子どもたちの体力向上について	<p>昭和60年頃から全国的に子どもたちの体力が低下し、県下では特に50m走・反復横とびについては落ち込みが大きく、全国との差が大きく、特に小学校ではその傾向が強いとされている。</p> <p>(1) 本市の状況はどうか。</p> <p>(2) 体力向上のための手段として何かしているのか。</p> <p>(3) 子どもたちが思いっきり運動するために校庭の芝生化を考えられないか。(保育所、幼稚園を含め)</p> <p>(4) 県下一周駅伝大会は選手や監督、コーチなどにより、伊佐市民に大きな感動を与えた。今後、高校生を含む選手の確保に苦慮するとのことである。もっと早い時期に対応すべきだったのではと思う。そこで体力向上は大きな要因となるが、今後の取組について伺いたい。</p> <p>(5) 2巡目の鹿児島国体が10年後の平成32年に開催予定である。国体選手少年の部の対象が4歳以上とされる。この伊佐の地から多くの国体選手を生む努力も必要と思うが、このことについても伺いたい。</p>	市長	
			2 施設入所希望の高齢者対策について	<p>第4期介護保険事業計画(21~23年度)が策定されているが、その中でグループホーム、小規模多機能型居宅介護施設計画の進捗状況はどうなっているのか。今も市内では多くの方々が、入所できずに途方に暮れている。現在の状況をどう把握されているのか。</p> <p>(1) 現在1事業所のグループホームでさえ待機者は10名ほどと聞くが、状況はどうか。施設入所希望の調査等はされているのか。</p> <p>(2) 高齢化率が高くなる中、特に要支援から要介護度1~2の高齢者の入居できる施設が不足している。計画中の施設で対応できるのか。</p> <p>(3) 介護報酬は上がったものの、マンパワーの確保は大丈夫なのか。</p>	市長	